

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/08		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001101	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(P1・P2) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 山田 志津香 / Yamada Shiduka, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 小川 さやか, 相良 郁子 / Sagara Ikuko, 夏田 昌子, 松尾 辰樹 / Matuo Tatuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 山田 志津香 / Yamada Shiduka, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 小川 さやか, 相良 郁子 / Sagara Ikuko, 夏田 昌子, 松尾 辰樹 / Matuo Tatuki		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	P1・P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立 することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、 とても良い(3点), 普通(2点), 不十分(1点), 評価不能(0点)の4段階で評価し, 8回の合計が 24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備 知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健 康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください 。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科 目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 佐々木 規子/認定遺伝カウンセラー、助産師/遺伝医療における専門職の役割と連携、遺伝カウンセリングに関する講義/ 山田 志津香/長崎大学病院歯科保存治療室での勤務経験/抜髄や感染根管治療に必要な基本知識及び術式の修得のため抜去歯や歯牙模型を用いて行う模型実習の指導を行う。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態・合併症について実践的な内容/ 河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウイルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。 /</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 4月13日	青年期に健康を考える
第2回 / 4月20日	青年期の性 性感染症, 母性
第3回 / 4月27日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 5月11日	心の健康 ( 1 ) 薬物依存, うつ病, 自殺問題
第5回 / 5月18日	心の健康 ( 2 ) ストレスマネジメント
第6回 / 5月25日	生活習慣病 ( 1 ) メタボリックシンドローム
第7回 / 6月1日	生活習慣病 ( 2 ) がん
第8回 / 6月8日	【最終講義日】血液, 総括 ( レポートライティング )

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001102	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(E1~E3) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 小川 さやか, 山下 恭徳, 夏田 昌子, 松尾 辰樹 / Matuo Tatuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 小川 さやか, 山下 恭徳, 夏田 昌子, 松尾 辰樹 / Matuo Tatuki		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E1-E3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確かめたり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い(3点), 普通(2点), 不十分(1点), 評価不能(0点)の4段階で評価し, 8回の合計が24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な 基本的知識、技能について概説する。/ 大石 和代/助産師/産褥期・新生児期における母体と新生児への看護に必要な看護技術演習/ 山下 恭徳/歯科保存治療室での勤務経験/抜髄や感染根管治療に必要な基本知識及び術式の修得のた め抜去歯や歯牙模型を用いて行う模型実習の指導を行う。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性 を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態 ・合併症について実践的な内容/ 河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での 実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、 本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B 型およびC 型肝炎ウイルスといった 血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血 の現状について、血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 4月14日	青年期に健康を考える
第2回 / 4月21日	青年期の性 性感染症,母性
第3回 / 4月28日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 5月12日	心の健康(1)薬物依存,うつ病,自殺問題
第5回 / 5月19日	心の健康(2)ストレスマネジメント
第6回 / 5月26日	生活習慣病(1)メタボリックシンドローム
第7回 / 6月2日	生活習慣病(2)がん
第8回 / 6月9日	【最終講義日】血液,総括(レポート・ライティング)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001103	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(K1~K3) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 小川 さやか, 本多 直子 / Honda Naoko, 夏田 昌子, 尾崎 幸生 / Ozaki Yukio, 松尾 辰樹 / Matuo Tatuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 小川 さやか, 本多 直子 / Honda Naoko, 夏田 昌子, 尾崎 幸生 / Ozaki Yukio, 松尾 辰樹 / Matuo Tatuki		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	K1~K3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL / Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標 / Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い(3点), 普通(2点), 不十分(1点), 評価不能(0点)の4段階で評価し, 8回の合計が24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード / Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/</p> <p>本多 直子/小児病棟での勤務経験、子育て支援センターでの発達・子育て相談事業/一般的な子どもの発達、発育とそのアセスメント方法について教授/</p> <p>尾崎 幸生/長崎大学病院歯科保存治療室での勤務経験/抜髄や感染根管治療に必要な基本知識及び術式の修得のため抜去歯や歯牙模型を用いて行う模型実習の指導を行う。/</p> <p>木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/</p> <p>夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態・合併症について実践的な内容/</p> <p>河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/</p> <p>松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウイルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 4月8日	青年期に健康を考える
第2回 / 4月15日	青年期の性 性感染症,母性
第3回 / 4月22日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 5月13日	心の健康(1)薬物依存,うつ病,自殺問題
第5回 / 5月20日	心の健康(2)ストレスマネジメント
第6回 / 5月27日	生活習慣病(1)メタボリックシンドローム
第7回 / 6月3日	生活習慣病(2)がん
第8回 / 6月10日	【最終講義日】血液,総括(レポート・ライティング)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001104	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(M1~M3) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 小川 さやか, 本多 直子 / Honda Naoko, 夏田 昌子, 尾崎 幸生 / Ozaki Yukio, 松尾 辰樹 / Matuo Tatuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 小川 さやか, 本多 直子 / Honda Naoko, 夏田 昌子, 尾崎 幸生 / Ozaki Yukio, 松尾 辰樹 / Matuo Tatuki		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1 ~ M3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL / Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標 / Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確かめたり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い(3点), 普通(2点), 不十分(1点), 評価不能(0点)の4段階で評価し, 8回の合計が24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード / Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科 目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 本多 直子/小児病棟での勤務経験、子育て支援センターでの発達・子育て相談事業/一般的な子どもの発達、発育とそのアセスメント方法について教授/ 尾崎 幸生/長崎大学病院歯科保存治療室での勤務経験/抜髄や感染根管治療に必要な基本知識及び術式の修得のため抜去歯や歯牙模型を用いて行う模型実習の指導を行う。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態・合併症について実践的な内容/ 河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B型およびC型肝炎ウイルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について、血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 4月8日	青年期に健康を考える
第2回 / 4月15日	青年期の性 性感染症,母性
第3回 / 4月22日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 5月13日	心の健康(1)薬物依存,うつ病,自殺問題
第5回 / 5月20日	生活習慣病(1)メタボリックシンドローム
第6回 / 5月27日	心の健康(2)ストレスマネジメント
第7回 / 6月3日	生活習慣病(2)がん
第8回 / 6月10日	【最終講義日】血液,総括(レポート・ライティング)



学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/04		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001105	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(T7~T9) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 小川 さやか, 松裏 貴史 / Matsura Takashi, 夏田 昌子, 松尾 辰樹 / Matuo Tatuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 小川 さやか, 松裏 貴史 / Matsura Takashi, 夏田 昌子, 松尾 辰樹 / Matuo Tatuki		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T7~T9		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL / Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標 / Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確かめたり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い(3点), 普通(2点), 不十分(1点), 評価不能(0点)の4段階で評価し, 8回の合計が24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード / Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>古林 正和/糖尿病診療/糖尿病診療の経験に基づき,糖尿病の慢性合併症の診断・病態について実践 的な内容/ 大西 真由美/行政保健師(公衆衛生看護活動)ならびに国際保健医療協力の実務経験/公衆衛生看護 活動における社会格差・社会的排除、都市化、虐待・暴力、災害、感染症等の健康リスクに係るア セスメントならびにリスクマネジメント方法について概説する。/ 松裏 貴史/歯科保存治療室での勤務経験/抜髄や感染根管治療に必要な基本知識及び術式の修得のた め抜去歯や歯牙模型を用いて行う模型実習の指導を行う。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性 を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態 ・合併症について実践的な内容/ 河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での 実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、 本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B 型およびC 型肝炎ウイルスといった 血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血 の現状について、血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。 /</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 4月9日	青年期に健康を考える
第2回 / 4月16日	青年期の性 性感染症,母性
第3回 / 4月23日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 4月30日	心の健康(1)薬物依存,うつ病,自殺問題
第5回 / 5月7日	生活習慣病(1)メタボリックシンドローム
第6回 / 5月14日	心の健康(2)ストレスマネジメント
第7回 / 5月21日	生活習慣病(2)がん
第8回 / 5月28日	【最終講義日】血液,総括(レポート・ライティング)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/16		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001106	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(E4~E6) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 夏田 昌子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 夏田 昌子		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E4 ~ E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確かめたり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い(3点), 普通(2点), 不十分(1点), 評価不能(0点)の4段階で評価し, 8回の合計が24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科 目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	古林 正和/糖尿病診療/糖尿病診療の経験に基づき,糖尿病の慢性合併症の診断・病態について実践 的な内容/ 森藤 香奈子/小児病棟での勤務経験、子育て支援センターでの発達・子育て相談事業、患者・家族 会への参画/子どもと食事、遺伝に関する講義およびディスカッションを行う/ 吉村 篤利/歯科医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、生涯に亘る健康の維持・ 増進のための基本的知識,技能を歯科学的アプローチで講義,実習等により教授する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性 を把握し、実務経験に基づき,本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態 ・合併症について実践的な内容/ 河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での 実務経験に基づき,本授業科目に必要な基本的知識,技能を講義,実習等により教授する。/ 松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、 本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には,B 型およびC 型肝炎ウイルスといった 血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血 の現状について,血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 9月28日	青年期に健康を考える
第2回 / 10月5日	青年期の性 性感染症,母性
第3回 / 10月12日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 10月19日	心の健康(1)薬物依存,うつ病,自殺問題
第5回 / 10月26日	心の健康(2)ストレスマネジメント
第6回 / 11月2日	生活習慣病(1)メタボリックシンドローム
第7回 / 11月9日	生活習慣病(2)がん
第8回 / 11月16日	【最終講義日】血液,総括(レポート・ライティング)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/16		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001107	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(F1~F3) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 夏田 昌子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 夏田 昌子		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確かめたり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い(3点), 普通(2点), 不十分(1点), 評価不能(0点)の4段階で評価し, 8回の合計が24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科 目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	古林 正和/糖尿病診療/糖尿病診療の経験に基づき,糖尿病の慢性合併症の診断・病態について実践 的な内容/ 森藤 香奈子/小児病棟での勤務経験、子育て支援センターでの発達・子育て相談事業、患者・家族 会への参画/子どもと食事、遺伝に関する講義およびディスカッションを行う/ 吉村 篤利/歯科医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、生涯に亘る健康の維持・ 増進のための基本的知識,技能を歯科学的アプローチで講義,実習等により教授する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性 を把握し、実務経験に基づき,本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態 ・合併症について実践的な内容/ 河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での 実務経験に基づき,本授業科目に必要な基本的知識,技能を講義,実習等により教授する。/ 松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、 本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には,B 型およびC 型肝炎ウイルスといった 血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血 の現状について,血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 9月28日	青年期に健康を考える
第2回 / 10月5日	青年期の性 性感染症,母性
第3回 / 10月12日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 10月19日	心の健康(1)薬物依存,うつ病,自殺予防
第5回 / 10月26日	心の健康(2)ストレスマネジメント
第6回 / 11月2日	生活習慣病(1)メタボリックシンドローム
第7回 / 11月9日	生活習慣病(2)がん
第8回 / 11月16日	【最終講義日】血液,総括(レポート・ライティング)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001108	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(L2~L4) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 松裏 貴史 / Matsura Takashi, 夏田 昌子, 江藤 宏美 / Eto Hiromi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 松裏 貴史 / Matsura Takashi, 夏田 昌子, 江藤 宏美 / Eto Hiromi		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L2~L4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い(3点), 普通(2点), 不十分(1点), 評価不能(0点)の4段階で評価し, 8回の合計が24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科 目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>古林 正和/糖尿病診療/糖尿病診療の経験に基づき,糖尿病の慢性合併症の診断・病態について実践的な内容/ 江藤 宏美/看護師としての実務経験を有している。/各職種での実務経験に基づき,生涯に亘る健康の維持・増進のための基本的知識を看護学的アプローチから教授する。/ 松裏 貴史/歯科保存治療室での勤務経験/抜髄や感染根管治療に必要な基本知識及び術式の修得のため抜去歯や歯牙模型を用いて行う模型実習の指導を行う。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として,対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき,本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態・合併症について実践的な内容/ 河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での実務経験に基づき,本授業科目に必要な基本的知識,技能を講義,実習等により教授する。/ 松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には,B 型およびC 型肝炎ウイルスといった血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血の現状について,血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。 /</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 9月29日	青年期に健康を考える
第2回 / 10月6日	青年期の性 性感染症,母性
第3回 / 10月13日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 10月20日	心の健康(1)薬物依存,うつ病,自殺予防
第5回 / 10月27日	心の健康(2)ストレスマネジメント
第6回 / 11月10日	生活習慣病(1)メタボリックシンドローム
第7回 / 11月17日	生活習慣病(2)がん
第8回 / 11月24日	【最終講義日】 血液,総括(レポート・ライティング)



学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001109	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(G1~G3・L1) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 松裏 貴史 / Matsura Takashi, 相良 郁子 / Sagara Ikuko, 夏田 昌子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 松裏 貴史 / Matsura Takashi, 夏田 昌子		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1~G3・L1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立 することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、 とても良い(3点)、普通(2点)、不十分(1点)、評価不能(0点)の4段階で評価し、8回の合計が 24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備 知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健 康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください 。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	古林 正和/糖尿病診療/糖尿病診療の経験に基づき,糖尿病の慢性合併症の診断・病態について実践 的な内容/ 永橋 美幸/長崎大学病院産婦人科および小児科での勤務経験/妊娠期及び分娩期の看護に必要な医学 的専門知識と健康回復への援助,健康の維持・増進・回復を図るための看護アセスメントの方法につ いて解説および演習にて指導する。/ 松裏 貴史/歯科保存治療室での勤務経験/抜髄や感染根管治療に必要な基本知識及び術式の修得のた め抜去歯や歯牙模型を用いて行う模型実習の指導を行う。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性 を把握し、実務経験に基づき,本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態 ・合併症について実践的な内容/ 河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での 実務経験に基づき,本授業科目に必要な基本的知識,技能を講義,実習等により教授する。/ 松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、 本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には,B 型およびC 型肝炎ウイルスといった 血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血 の現状について,血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 9月29日	青年期に健康を考える
第2回 / 10月6日	青年期の性 性感染症,母性
第3回 / 10月13日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 10月20日	心の健康(1)薬物依存,うつ病,自殺予防
第5回 / 10月27日	心の健康(2)ストレスマネジメント
第6回 / 11月10日	生活習慣病(1)メタボリックシンドローム
第7回 / 11月17日	生活習慣病(2)がん
第8回 / 11月24日	【最終講義日】血液,総括(レポート・ライティング)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001110	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(D2・J1~J3) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 山下 恭徳, 夏田 昌子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 山下 恭徳, 夏田 昌子		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	D2・J1~J3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立 することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、 とても良い(3点), 普通(2点), 不十分(1点), 評価不能(0点)の4段階で評価し, 8回の合計が 24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備 知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健 康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください 。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	古林 正和/糖尿病診療/糖尿病診療の経験に基づき,糖尿病の慢性合併症の診断・病態について実践 的な内容/ 永橋 美幸/長崎大学病院産婦人科および小児科での勤務経験/妊娠期及び分娩期の看護に必要な医学 的専門知識と健康回復への援助,健康の維持・増進・回復を図るための看護アセスメントの方法につ いて解説および演習にて指導する。/ 山下 恭徳/歯科保存治療室での勤務経験/抜髄や感染根管治療に必要な基本知識及び術式の修得のた め抜去歯や歯牙模型を用いて行う模型実習の指導を行う。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性 を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態 ・合併症について実践的な内容/ 河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での 実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、 本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B 型およびC 型肝炎ウイルスといった 血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血 の現状について、血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 9月30日	青年期に健康を考える
第2回 / 10月7日	青年期の性 性感染症,母性
第3回 / 10月14日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 10月21日	心の健康(1)薬物依存,うつ病,自殺予防
第5回 / 10月28日	心の健康(2)ストレスマネジメント
第6回 / 11月4日	生活習慣病(1)メタボリックシンドローム
第7回 / 11月11日	生活習慣病(2)がん
第8回 / 11月18日	【最終講義日】血液,総括(レポート・ライティング)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001111	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(T1~T3) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 山田 志津香 / Yamada Shiduka, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 夏田 昌子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 山田 志津香 / Yamada Shiduka, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 夏田 昌子		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T1~T3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立 することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、 とても良い(3点), 普通(2点), 不十分(1点), 評価不能(0点)の4段階で評価し, 8回の合計が 24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備 知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健 康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください 。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科 目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	古林 正和/糖尿病診療/糖尿病診療の経験に基づき,糖尿病の慢性合併症の診断・病態について実践 的な内容/ 佐々木 規子/認定遺伝カウンセラー、助産師/遺伝医療における専門職の役割と連携、遺伝カウンセ リングに関する講義/ 山田 志津香/長崎大学病院歯科保存治療室での勤務経験/抜髄や感染根管治療に必要な基本知識及び 術式の修得のため抜去歯や歯牙模型を用いて行う模型実習の指導を行う。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性 を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態 ・合併症について実践的な内容/ 河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での 実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、 本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B 型およびC 型肝炎ウイルスといった 血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血 の現状について、血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 9月30日	青年期に健康を考える
第2回 / 10月7日	青年期の性 性感染症,母性
第3回 / 10月14日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 10月21日	心の健康(1)薬物依存,うつ病,自殺予防
第5回 / 10月28日	心の健康(2)ストレスマネジメント
第6回 / 11月4日	生活習慣病(1)メタボリックシンドローム
第7回 / 11月11日	生活習慣病(2)がん
第8回 / 11月18日	【最終講義日】血液,総括(レポート・ライティング)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001112	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(T4~T6) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 夏田 昌子, 宮崎 あすか, 樋口 賀奈子 / HIGUCHI KANAKO		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 夏田 昌子, 宮崎 あすか, 樋口 賀奈子 / HIGUCHI KANAKO		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T4~T6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い(3点), 普通(2点), 不十分(1点), 評価不能(0点)の4段階で評価し, 8回の合計が24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科 目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	古林 正和/糖尿病診療/糖尿病診療の経験に基づき,糖尿病の慢性合併症の診断・病態について実践 的な内容/ 宮崎 あすか/小児病棟での勤務経験、子育て支援センターでの発達・子育て相談事業/一般的な子ど もの発達、発育とそのアセスメント方法について教授/ 杉本 浩司/歯科保存治療室での勤務経験/歯科疾患に関する予防をはじめ、抜髄や感染根管治療に必 要な基本知識の指導を行う。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性 を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態 ・合併症について実践的な内容/ 河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での 実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、 本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には、B 型およびC 型肝炎ウイルスといった 血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血 の現状について、血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 10月1日	青年期に健康を考える
第2回 / 10月8日	青年期の性 性感染症,母性
第3回 / 10月15日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 10月22日	心の健康(1)薬物依存,うつ病,自殺予防
第5回 / 10月29日	心の健康(2)ストレスマネジメント
第6回 / 11月5日	生活習慣病(1)メタボリックシンドローム
第7回 / 11月12日	生活習慣病(2)がん
第8回 / 11月19日	【最終講義日】血液,総括(レポート・ライティング)



学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200562001113	科目番号 / Course code	05620011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 11111_024		
授業科目名 / Course title	健康科学(M4~M6・D1) / Health Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 夏田 昌子, 宮崎 あすか, 樋口 賀奈子 / HIGUCHI KANAKO		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古林 正和 / Kobayashi Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 夏田 昌子, 宮崎 あすか, 樋口 賀奈子 / HIGUCHI KANAKO		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4 ~ M6・D1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生涯に亘る健康の維持・増進のための知識・理解度を高める。		
授業到達目標/Course goals	生涯に亘る健康の維持・増進のために、「健康とは何か」を考え、青年期から適切な生活習慣を確立することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとのレポートあるいは小テストにより評価する。各週のレポートあるいは小テストは、とても良い(3点), 普通(2点), 不十分(1点), 評価不能(0点)の4段階で評価し, 8回の合計が24点満点のうち15点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康, 予防, 生活習慣, ライフサイクル, 心の健康, 青年期の性, 歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。 プリント資料, スライド, ビデオ, 事前あるいは授業時に配布されるパンフレット類, 各自の入学時健康診断結果等を使用する。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	レポート提出がなければ出席したと見なされないの、出席したら必ずレポートを提出してください。全8回しかありません。8回中3回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科 目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	古林 正和/糖尿病診療/糖尿病診療の経験に基づき,糖尿病の慢性合併症の診断・病態について実践 的な内容/ 宮崎 あすか/小児病棟での勤務経験、子育て支援センターでの発達・子育て相談事業/一般的な子ど もの発達、発育とそのアセスメント方法について教授/ 杉本 浩司/歯科保存治療室での勤務経験/歯科疾患に関する予防をはじめ、抜髄や感染根管治療に必 要な基本知識の指導を行う。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性 を把握し、実務経験に基づき,本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病(メタボリックシンドローム)の診断・病態 ・合併症について実践的な内容/ 河野 哲也/長崎大学病院内科での勤務経験/呼吸器(特に禁煙、喘息や呼吸器アレルギー)内科での 実務経験に基づき,本授業科目に必要な基本的知識,技能を講義,実習等により教授する。/ 松尾 辰樹/長崎県赤十字血液センター所長/長崎県赤十字血液センター所長の実務経験を活かして、 本授業で取り上げる生活習慣病としての「がん」の要因には,B 型およびC 型肝炎ウイルスといった 血液を介した感染があり、血液についての基本的知識およびそれと関連した長崎県内の輸血や献血 の現状について,血液の専門家からの講義を受けることで一部の「がん」の予防について教授する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 10月1日	青年期に健康を考える
第2回 / 10月8日	青年期の性 性感染症,母性
第3回 / 10月15日	歯と歯ぐきの健康
第4回 / 10月22日	心の健康(1)薬物依存,うつ病,自殺予防
第5回 / 10月29日	心の健康(2)ストレスマネジメント
第6回 / 11月5日	生活習慣病(1)メタボリックシンドローム
第7回 / 11月12日	生活習慣病(2)がん
第8回 / 11月19日	【最終講義日】血液,総括(レポート・ライティング)